

2. 消防施設

1. 消防機械

県下消防機関の有する主要な消防機械の現況は以下の表のとおりである。

消防本部・署については、10年前と比べると消防ポンプ自動車及び化学消防自動車が増加している一方、救急自動車及び救助工作車の伸びが大きくなっている。

また、消防団については、10年前と比べると全般的に減少している。

消防本部・署	消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車	化学消防自動車	救急自動車	救助工作車
平成21年	333	66	55	249	54
平成11年	339	65	57	224	49
増減	▲6	1	▲2	25	5

消防団	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ
平成21年	595	1096	209
平成11年	656	1180	225
増減	▲61	▲84	▲16

2. 消防水利

消防水利には、消火栓、防火水槽、井戸、河川等の種類がある。

消防水利の現況の推移を示すと、以下のグラフのとおりである。

10年前と比べると、総数で13,719（18.6%）増加しており、これは、消火栓の増加（25.3%）によるところが大きい。

また、防火水槽（40㎡以上）は10年前と比べると15.4%増加しているが、近い将来発生が懸念されている大規模地震等に備え、より一層の増加を図っていく必要がある。

